

公募システム入力項目

事業内容: No.	20190627-0005
団体情報: 団体名	原田積善会
団体情報: 設立年月日	1920/7/6
団体情報: 団体の種類	公益財団法人
団体情報: 法人格取得年月日	1920/7/6
団体情報: 代表者 役職	理事長
団体情報: 代表者 氏名	稲垣裕志
団体情報: 〒	158-0082
団体情報: 住所	東京都世田谷区等々力3-33-3
団体情報: TEL	03-3701-0425
団体情報: Email	haradasekizenkai@p00.itscom.net
団体情報: ウェブサイト	www.haradasekizenkai.or.jp
団体情報: 過去3年以内に非営利組織評価センター（JCNE）による評価を受けていますか	④受けていない
団体情報: 上記で①、②を選択した場合、コチラに対象URLを入力してください	
団体情報: 理事（人数）	5
団体情報: 評議員・社員（人数）	9
団体情報: 監事（人数）	1
団体情報: 監事のうち公認会計士または税理士（人数）	0
団体情報: 事務局職員 常勤有給（人数）	3
団体情報: 事務局職員 常勤無給（人数）	0
団体情報: 事務局職員 非常勤有給（人数）	1
団体情報: 事務局職員 非常勤無給（人数）	0
団体情報: 正会員 個人会員（人数）	0
団体情報: 正会員 団体会員（人数）	0
団体情報: その他 個人会員（人数）	0
団体情報: その他 団体会員（人数）	0
団体情報: ボランティア（前年度人数）	0
団体情報: 寄付（前年度件数）	0
団体情報: 組織概要（400字以内）	ビジョン：社会福祉事業の増進、学術、文化の発展及び国際相互理解の促進に寄与する ミッション：ニーズの変化を捉え、迅速な意思決定でニッチなニーズに応える 事業：社会（救済）事業、生活困窮者・高齢者・母子家庭支援、児童養護、障害者福祉、地方文化（創設者生誕地三重県松阪市）の振興、災害救援

公募システム入力項目

<p>団体情報: 助成事業の実績 (800字以内)</p>	<p>原田積善会は、戦前は大型・多目的助成財団として、1920（大正9）の設立時より、1945年までの25年間の総助成件数は7098件、総助成額は約314億円（時価）であった。戦後（1946年－2019年）73年間は社会福祉助成を中核とし、総助成件数2121件、総助成額は約16億円にとどまっている。弊会の助成プログラムの特徴としては、創立後、大正末期から昭和30年代まで、戦後の福祉国家体制に大きく転換していく政府の社会福祉政策に沿って、民間社会事業（NPO）の維持費用への助成を行っている。この時期、社会救済事業を継続すると同時に、弊会の第二の柱である学芸技術への助成プログラムとして、1922（大正11）年より97年にわたる日本学士院への学術研究奨励の寄付を開始し、2008年には永年の助成に対して感謝状を贈られた。近年の助成事業の実績としては、平成18年より東京消防庁玉川消防署に助成を復活したが、これは、遡って昭和11年に警視庁消防部へ弊会が救急車6台を米国より輸入して寄付し、我が国の救急業務への道を開いたことが発端である。また、弊会は「いのちの電話」創立5年目の昭和51年から相談員訓練費用、設備拡充費用を助成している。昨今ではこども・若者の自立支援に注力し、平成15年に設立されたNPOスマイル・オブ・キッズの事業である難病のこどもと家族滞在施設（リラの家）開設時から10年に渡って支援を行っており、同NPOの目指している横浜こどもホスピス開設にも支援中である。平成19年創設の「野口英世アフリカ基金」には平成31年8月予定の第3回授賞式まで毎回支援を行っている。平成20年には、弊会の創設者原田二郎の生家を三重県松阪市に寄贈し、市の文化財にも指定されている旧宅の維持管理費の寄付を現在まで継続して行い、市の観光振興に貢献している。</p>
<p>団体情報: 前年度の助成件数 (件)</p>	<p>58</p>
<p>団体情報: 前年度の助成総額 (円)</p>	<p>21452354</p>
<p>団体情報: 決済責任者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 決済責任者 役職</p>	
<p>団体情報: 決済責任者 氏名</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 役職</p>	
<p>団体情報: 経理担当者 氏名</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 (常勤/非常勤)</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 役職</p>	
<p>団体情報: 通帳管理者 氏名</p>	
<p>団体情報: 年間決算の監査を行っていますか?</p>	<p>①監事を実施</p>
<p>団体情報: 上記で ③その他で実施 を選んだ場合はコチラに記述してください</p>	
<p>団体情報: 必要な会計帳簿が備え付けられている</p>	<p>はい</p>
<p>団体情報: 業務別に区分経理ができる体制である</p>	<p>はい</p>
<p>団体情報: 関連する情報 (複数選択可)</p>	<p>助成活動の案件の発掘・形成・発展のための情報収集や調査研究を行っている; 他のセクター・団体との共創・協働</p>
<p>団体情報: 3年前 年度 (西暦)</p>	<p>2016</p>
<p>団体情報: 3年前 年度期間 (開始)</p>	<p>2016/1/1</p>

公募システム入力項目

団体情報: 3年前 年度期間 (終了)	2016/12/31
団体情報: 3年前 総額 (円)	93724851
団体情報: 3年前 会費 (円)	0
団体情報: 3年前 自主事業 (円)	93724851
団体情報: 3年前 寄付金 (円)	0
団体情報: 3年前 受託事業 (円)	0
団体情報: 3年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 3年前 民間からの助成金 (円)	0
団体情報: 3年前 その他 (円)	0
団体情報: 2年前 年度 (西暦)	2017
団体情報: 2年前 年度期間 (開始)	2017/1/1
団体情報: 2年前 年度期間 (終了)	2017/12/31
団体情報: 2年前 総額 (円)	96294027
団体情報: 2年前 会費 (円)	0
団体情報: 2年前 自主事業 (円)	96294027
団体情報: 2年前 寄付金 (円)	0
団体情報: 2年前 受託事業 (円)	0
団体情報: 2年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 2年前 民間からの助成金 (円)	0
団体情報: 2年前 その他 (円)	0
団体情報: 1年前 年度 (西暦)	2018
団体情報: 1年前 年度期間 (開始)	2018/1/1
団体情報: 1年前 年度期間 (終了)	2018/12/31
団体情報: 1年前 総額 (円)	98393643
団体情報: 1年前 会費 (円)	0
団体情報: 1年前 自主事業 (円)	98393643
団体情報: 1年前 寄付金 (円)	0
団体情報: 1年前 受託事業 (円)	0
団体情報: 1年前 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 1年前 民間からの助成金 (円)	0
団体情報: 1年前 その他 (円)	0
団体情報: 今年度 収入見込み総額 (除休眠預金円)	92946000
団体情報: 今年度 会費 (円)	0
団体情報: 今年度 自主事業 (円)	92946000
団体情報: 今年度 寄付金 (円)	0
団体情報: 今年度 受託事業 (円)	0

公募システム入力項目

団体情報: 今年度 国・地方公共団体からの助成金/補助金 (円)	0
団体情報: 今年度 民間からの助成金 (円)	0
団体情報: 今年度 その他 (円)	0
団体情報: メモ	管理方法の項の監事監査についての補足: 当会は会計監査人設置義務はないが、税理士法人中村コンサルティングオフィスと顧問契約を結び、法令順守・会計・税務の指導助言を受けている。
申請事業 分類1	①草の根活動支援事業
申請事業 分類2	①-1 全国ブロック
申請事業 分類3	
申請事業名 主題 (15字以内)	原田積善会 若者支援プログラム
申請事業名 副題 (任意・30字以内)	
助成希望期間	3年
助成金申請額 (円)	100000000
優先的に解決すべき社会の諸課題 (複数選択可)	①【分野1】 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ②【分野1】 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援; ③【分野1】 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援; ④【分野2】 働くことが困難な人への支援; ⑤【分野2】 社会的孤立や差別の解消に向けた支援; ⑥【分野3】 地域の働く場づくりの支援; ⑦【分野3】 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
その他 を選んだ場合はコチラに記述してください	
申請事業の概要 (300字以内)	解決したい課題としては、「事業計画書」(様式2)に記載したとおり、子ども・若者等社会的弱者を対象とする福祉・教育・療養の諸課題であり、具体的には、里親制度導入における里親への研修、養護施設の子どもの自立支援、子どもホスピス・患者親子滞在型施設・きょうだい児の保育所への支援など、若者を対象とする公的支援が十分届かない分野や、若者をめぐる社会問題解決に新たな分野で活動する全国の事業体を支援する。どのような活動を行うのかについては、当会の長年の実績を通じて構築された他団体とのネットワークを生かし、実行団体に寄り添いながら、JANPIAのプログラムオフィサー研修を受けて練り上げたいと考える。